

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）

令和三年十月十三日発行（毎月一回十三日発行）

定価 五〇〇円

第961号

第七十七卷

11

月号

高 知 道 會  
跳 龍 書

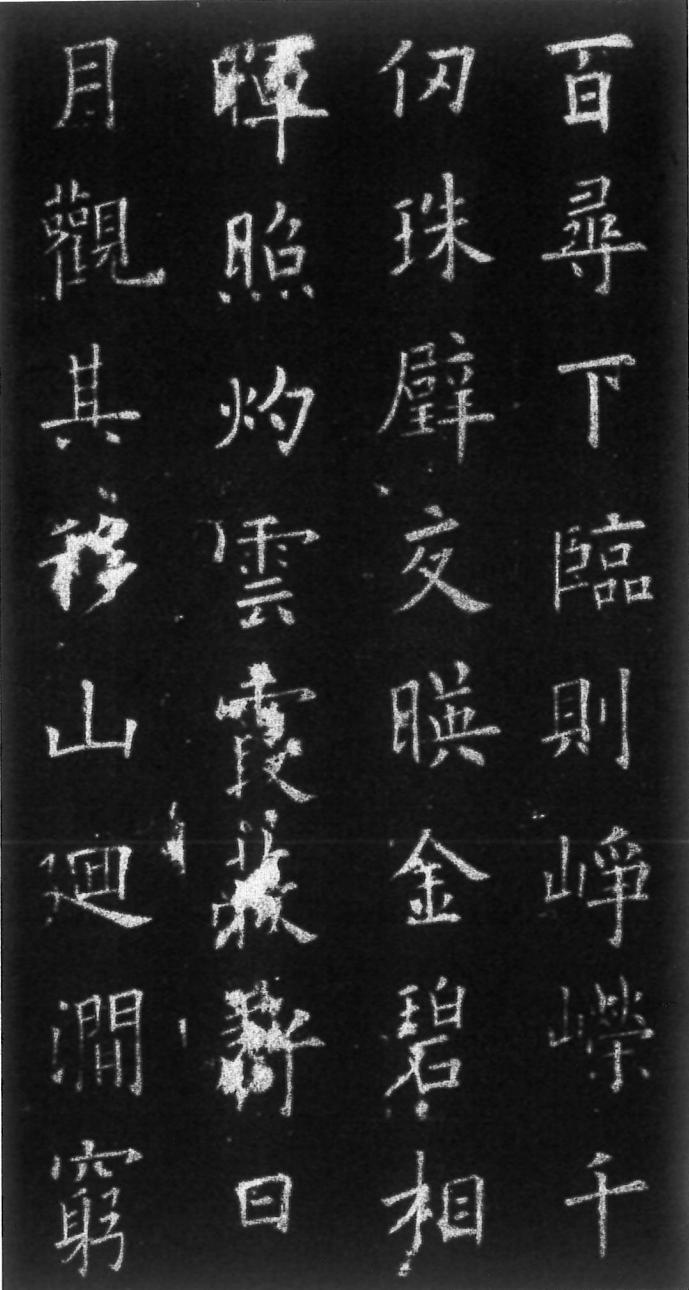
北代碧山臨

風流雲盡自大湖  
波之闊之大揚

北代  
碧山

九成宮醴泉銘

唐 欧陽詢



百尋。下臨則崢嶸千仞。珠璧交映。金碧相輝。照灼雲霞。蔽虧日月。觀其移山廻澗。  
窮。百尋、下に臨めば則ち崢嶸たること千仞。珠璧 交ごも映じ、金碧 相い輝き、雲霞を照灼し、日月を蔽虧す。其の山を移し澗を廻ら  
し。〔泰を〕窮め

九成宮醴泉銘

唐

歐陽詢  
おうようじゅん

歐陽詢（五七七—六四一）の九成宮醴泉銘は、「楷書の極則」つまり楷書の最も優れた法則といわれて、昔から尊ばれてきた。この非常なまでの美しさは、まことに理づめに計算された構成によつてできあがつている。

今日見られる最も優れた拓本といわれている。

前田秀華書

天外魚書絕征人豈念家可憐小兒女夜夜看燈花

天外魚書絕征人豈念家可  
憐小兒女夜夜看燈花

秀華書

中平美峰書

青山如故人江水似美酒今日重相逢把酒對良友

青山如故人江水似美酒今日重相逢把酒對良友

美峰書

遊 同 是 宦

人

梅川桂龍書

同じく是れ宦遊の人

梅  
川  
桂  
龍  
書

知 海 内 存

海内

知己存す

天 寒 月

天 寒 月

天 寒 月

天 寒 月

福 原 曉 雲 書

天 寒 月  
天 寒 月  
天 寒 月  
天 寒 月

出間桂堂臨

九成宮醴泉銘

百尋下臨則

百尋下  
臨則

旌  
司  
贊  
國  
報  
殊  
之  
富  
寧  
居  
景  
山  
蘇  
庭

矢野峰臣臨

入典主守朝春秋饗  
禮財出王家錢給

斧臣

大八木 洋女 臨

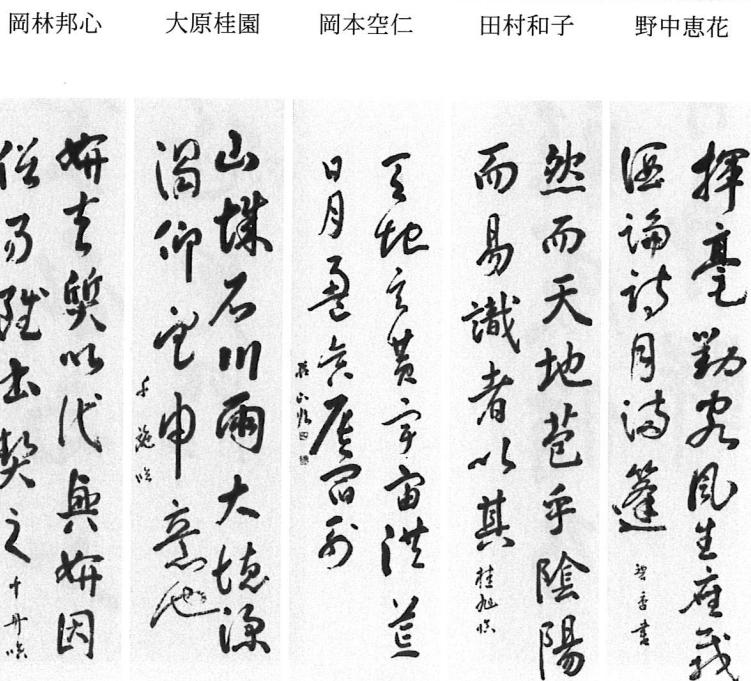
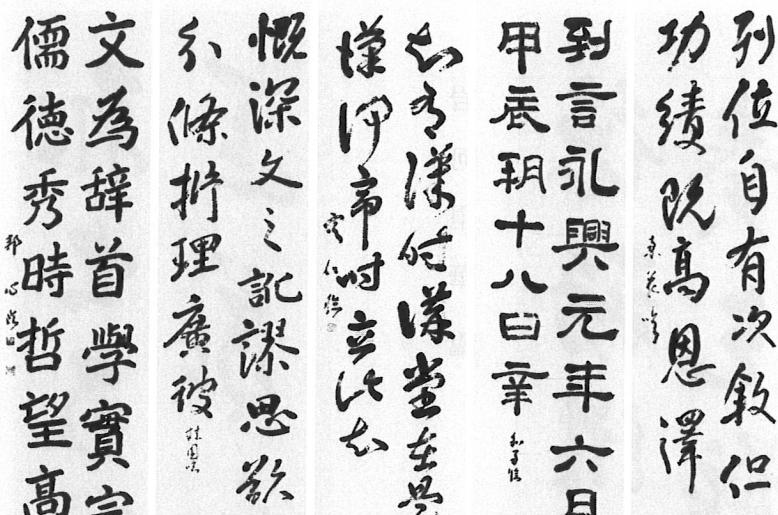
私乃事私而心  
王義之筆也

洋女臨

岩河里華臨

德祐淮脩脩躬成脩乃  
奏乞骸骨身歸

里華臨



条幅当選作品 出間桂堂 選評

★天位

野中恵花君＝一字／＼しつかりと力強く線質すばらしい。  
田村和子君＝あまり飾らず素朴に仕上げている。

岡本空仁君＝重厚な線で迫力あり、やゝ多墨。

大原桂園君＝一行の流れよし。二行目下部少しみだれあり。

岡林邦心君＝鄭義ト碑の深い落ちついた線、素晴らしい。

★地位

坂本碧香君＝自分の字で氣力は貫通している。二行目特に良い。

北村桂旭君＝温和整正。素朴に仕上げている。

西山極山君＝平常心で飾らず「ガミ」あり。

★人位

大石千施君＝やゝ多墨なるも全体に氣を感じる。  
濱田千舟君＝まだ堅さあるも線質は強い。

作品は毎月20日必着  
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◇

10月の審査は24日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は**高知城ホール**です。

全紅

紫山

中學一年課題 廣末幽念書

天 月

清 澄

平世  
和界

小学五年課題 隅田亘心書

の月

曲光

# の文 日化

11月20日締切

小学三年課題

大原桂園書

山

里

しは

や

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

か  
れ

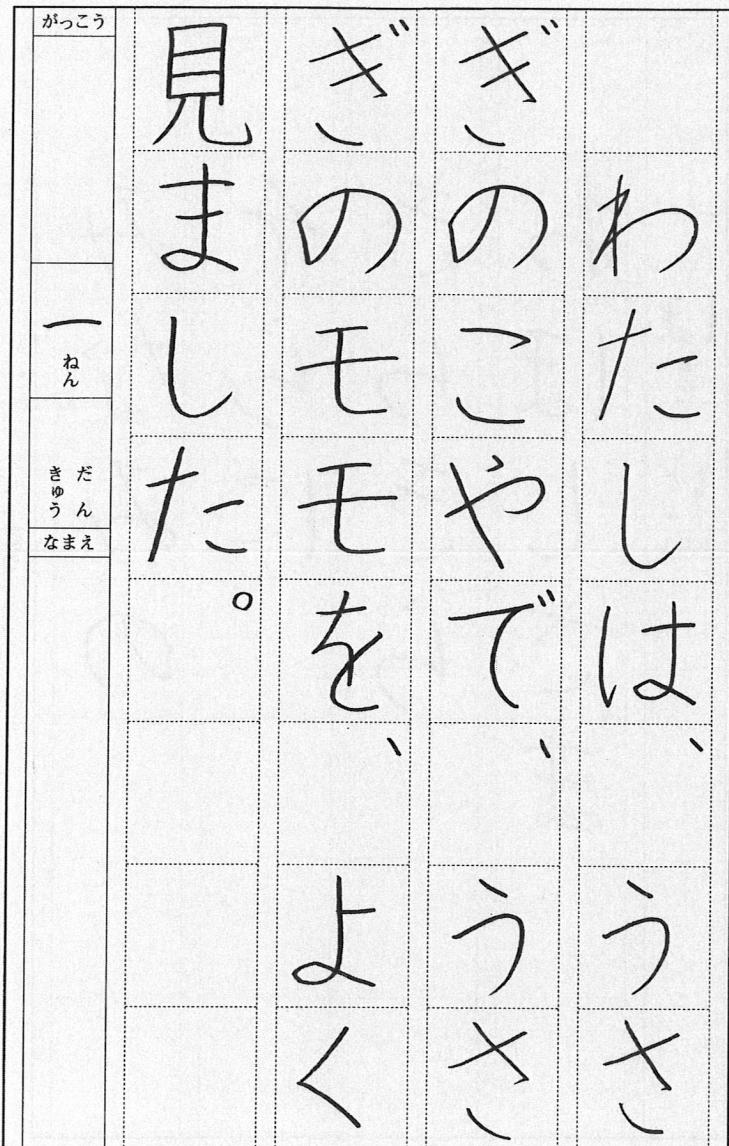
学校名	苦しい農作業の中に、樂し
年	さを見つける。工夫すること
級段	に喜びを見つける。そうして、
氏名	未来に希望をもつ。それが、
	農学校の先生としての宮沢賢治の理想だつた。

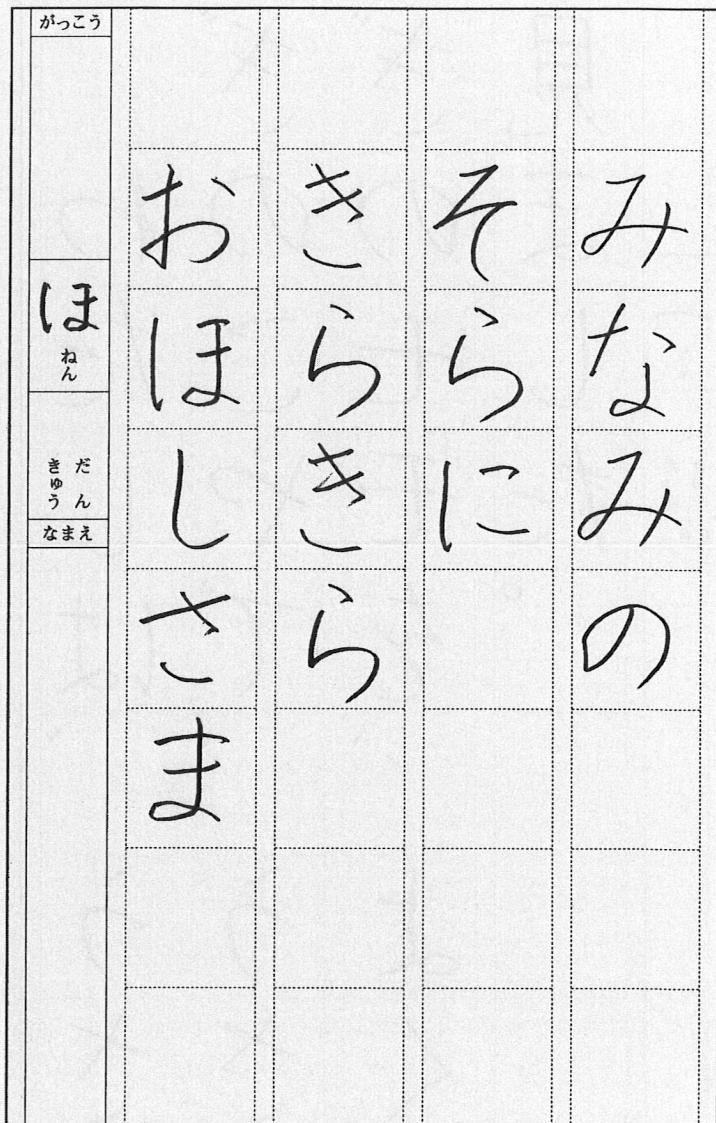
学校名	が	祭	し	ら、	五	兵衛	は、	自	分	の	家	の	庭	か
年	つ	り	た	・	村	で	は、	豊	年	を	祝	う	宵	ろ
級段	か	の	し	た	く	に	心	を	下	の	村	を	見	下
氏名	な	き	た	く	に	は	い	こ	こ	の	家	の	庭	か
	い	の	く	い	つ	こ	う	う	う	の	の	の	の	の

学校名	テレビでサッカーの試合を放送しています。今はハーフタイム。两千一									
四年	ムの選手たちは、コート									
級段	ムの選手たちは、コート									
氏名	ムの選手たちは、コート									

学 校 名	じんぎは・ねむらない
三 年	でまつていた。やつてく
級 段	るたびに、男の子はチ
氏 名	コレートを持つきだ。 そして、お母さんのこと を話して聞かせた。

がっこう	に	よ	じ	あ	学
二 ねん	知 ら	う	ん	な	校
だ ん	せ	に	じ	た	で
きゅ う	ま	書	よ	が	の
なまえ	し	き	、	し	一
	ょ	、	、	た	日
	う	家	が	こ	を
	.	の	分	と	、
		人	か	こ	
			る	の	





## 条幅参考当番表

令和4・5年度

提出期日	当 番	
令和4年1月審査会日	塚地	隅田
令和4年2月審査会日	野島	松下
令和4年3月審査会日	岡崎	野中
令和4年4月審査会日	前田	堅田
令和4年5月審査会日	廣末	市原
令和4年6月審査会日	出間	岡林
令和4年7月審査会日	中平	岡本(志)
令和4年8月審査会日	大黒	佐々木
令和4年9月審査会日	梅川	森本(寿)
令和4年10月審査会日	福原	大八木
令和4年11月審査会日	森本(瓊)	石川
令和4年12月審査会日		
令和5年1月審査会日	塚地	弘田(賀)
令和5年2月審査会日	野島	武内
令和5年3月審査会日	岡崎	岩河
令和5年4月審査会日	前田	大崎(花)
令和5年5月審査会日	廣末	大原
令和5年6月審査会日	出間	山下
令和5年7月審査会日	中平	河村
令和5年8月審査会日	大黒	小川
令和5年9月審査会日	梅川	深瀬
令和5年10月審査会日	福原	西山
令和5年11月審査会日	森本(瓊)	奥堂
令和5年12月審査会日		
補 欠	江西	

条幅参考当番を、上記のとおり予定いたしました。



(一・二段目) 福原曉雲 選評  
里華君||規模大きく伸々と書して選評。  
澄翠君||行意を入れ、氣脈が良く出  
て丁寧である。

(二・三段目) 廣末幽念 選評  
江月君||毛先が良く利き、線が美し  
い。この調子で。大佳。

清園君||文字骨格は良い。接筆、意  
理君||安定した書きぶり、氣力充  
実の作。

美賀君||線質も良く落ちている。  
由香君||線よく伸び温厚な作。

宏子君||厳正にして迫力あり。

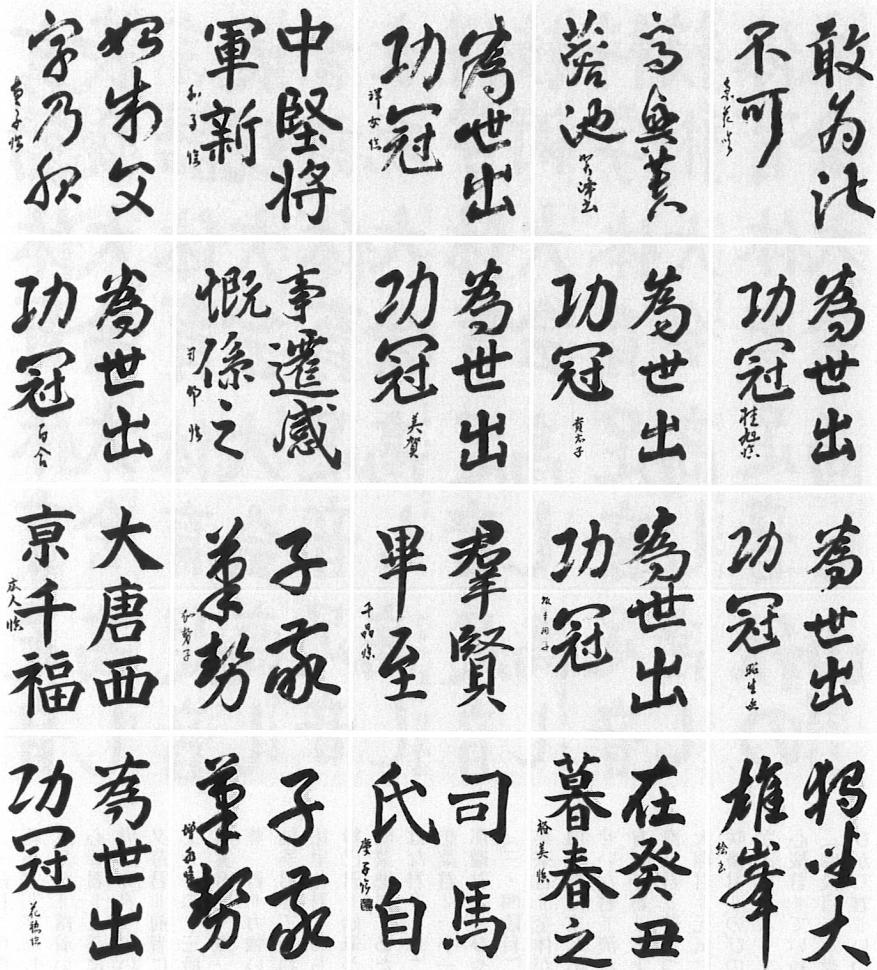
(三・四段目) 前田秀華 選評  
恵泉君||線質よく、筆力を感じる。  
絢子君||線に丸みがあり、ゆつたり  
とした作品。

淳君||字々しつかりしている。

美代君||落ち着きあり、丁寧に書し  
てある。

絵愛菜君||樂に書かれて安定している。  
房君||体がよく動き、線が伸びて  
います。

(四段目) 野島桂山 選評  
清辰君||見事な作品。感動しました。  
明美君||堅美な書きぶり好感がもて  
る。惠美君||もう少し線を大きく書くと  
もっとよくなります。



(一・二段目) 梅川桂龍選評  
惠花君<sup>II</sup>争座位を臨し、大胆で雄大な作。

賀峰君<sup>II</sup>筆先を駆使して運筆の呼吸が良い。厚味が加洋女君<sup>II</sup>力強くおおらか、師風を感じる。波

和子君<sup>II</sup>原帖を良く研究され、落ち着きあり。落ち桂峰君<sup>II</sup>筆勢は軽妙な筆致で安定した作。

大黒仙雲選評

貴志子君<sup>II</sup>古典に忠実に線質が整つてゐる。波

恵子君<sup>II</sup>線深く筆力あり。厚味が加洋女君<sup>II</sup>が良い。

桂峰君<sup>II</sup>筆勢は二行目乱れる。

波

司郎君<sup>II</sup>細線が鋭く整つてゐる。波

百合君<sup>II</sup>氣力あつて動きはよいが落

昭生君<sup>II</sup>形には出来てゐるが古典の線質には遠い。岡崎緑水選評

絢子君<sup>II</sup>線は強いが左払いを丁寧に書くと尚良いがほしい。

(三・四段目) 岡崎緑水選評

千晶君<sup>II</sup>さわやかな臨。線に大小あり、魅力的な臨。

知勢子君<sup>II</sup>重厚な線で良い練習が出来てゐる。

裕美君<sup>II</sup>ゆつたりと真面目な臨。出来る。

絵君<sup>II</sup>強いて書いた。少しきな。

廣人君<sup>II</sup>多宝塔を臨し良い勉強が出

裕美君<sup>II</sup>ゆつたりと真面目な臨。この調子で頑張ろう。

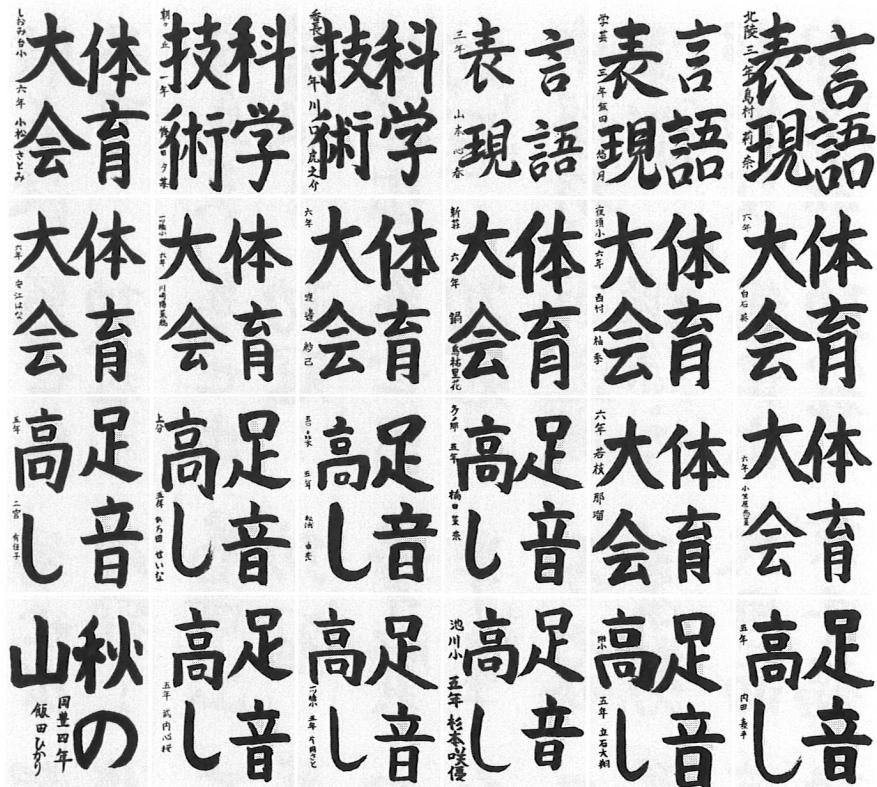
(四段目) 塚地桂峰選評

慶子君<sup>II</sup>力強く眞面目な作。

増水君<sup>II</sup>字々に勢いがあり、良くな

どまつてゐる。

花穂君<sup>II</sup>ていねいで明るい作。



(一段目) 中学部

岡林邦心

選評

莉奈君||字々しつかりしている。

悠月君||落着いた作。

心春君||上手にまとめている。

虎之介君||ていねいでよくまとめている。

夕苅君||前者に同じ。

(一・二・三段目) 小学六年 西山極山 選評

河村容舟 選評

論実君||一点一画よく書けています。

紗己君||始筆がしつかり書けています。

柚季君||ていねいに書けています。

祐里花君||おちついてよくまとっています。

恋菜君||一字一字しつかりかけています。

那瑠君||のびやかに書けています。名前もじょうず。

(三・四段目) 小学五年 沼田咲優

菜奈君||全体がまとまっています。

由奈君||まじめな作品。

せいな君||流れよくゆつたりと書けました。

有佳子君||形よくまとめています。

泰平君||落ちついてよくまとめています。

大翔君||元気に力強く書けています。

咲優君||のびのびと書けています。

さと君||よくまとまっています。

大翔君||ていねいな作品です。がんばつて。

(四段目) 小学四年 大八木洋女

選評



(一・二段目) 小学四年

千春君||良くまとまっています。

真里君||のびのびと書けています。

彩心君||手本をじっくり見て書くとまだ～良く書けます。

維那君||はじめに書けています。

乙羽君||すつきりとまとめています。

紗菜君||半紙いつぱい元気です。

創太君||しつかり書けています。

(二・三段目) 小学三年

陽菜君||のびのびとして力強い。

輝翔君||強い線でしつかり書けている。

綜君||明るくよくまとめている。

快晴君||落ちついでしつかりまとめました。

一翔君||のびやかで気持ちが良い。

あいか君||しつかり書けました。がんばって書いて下さい。

(三・四段目) 小学二年

リサ君||まじめにかいています。

なの君||ていねいにかけています。

ゆうせい君||元気にかけました。

一花君||しつかりのびかけました。

さくら子君||もう少し元気があればと思います。

はるね君||大きく元気にかくとまだ～よくなります。

(四段目) 小学一年 ようちほいく 佐竹江月 選評

実咲君||のびやかに書けています。

あさひ君||ゆつたりと大きく書けています。

まとい君||がんばって下さい。

たいき君||元気に書けています。

みみ君||おちついて書けています。

佐々木港花 選評

深瀬綠堂 選評

# 硬筆優秀作品

越知  
久重  
小笠原  
那瑠

須南  
前田  
市川  
笑梨

久礼  
戸波  
塩見  
千友  
維那

越知  
多ノ郷  
藤野  
敬心  
森光  
陽菜

夜須  
多ノ郷  
松浦  
匠海

越知  
多ノ郷  
橋田  
茉奈芽

一ツ橋  
浦ノ内  
中井  
小鈴

長岡  
岡上  
千春

公共図書館は、その地域に住んでいる人や、働いている人が利用する施設です。その人たちのたれもが、そこへ行き、自分が読みみたい本を探して、読んだり借りたりします。	公共図書館は、その地域に住んでいる人や、働いている人が利用する施設です。その人たちのたれもが、そこへ行き、自分が読みみたい本を探して、読んだり借りたりします。	公共図書館は、その地域に住んでいる人や、働いている人が利用する施設です。その人たちのたれもが、そこへ行き、自分が読みみたい本を探して、読んだり借りたりします。
二羽の鳥は、なおも地上ではげしく戦つていました。が、ハヤブサは、人間のすがたをみとめると、急に戦いをやめ、よろめきながら飛び去って、いきました。	二羽の鳥は、なおも地上ではげしく戦つていました。が、ハヤブサは、人間のすがたをみとめると、急に戦いをやめ、よろめきながら飛び去って、いきました。	二羽の鳥は、なおも地上ではげしく戦つていました。が、ハヤブサは、人間のすがたをみとめると、急に戦いをやめ、よろめきながら飛び去って、いきました。
森の中は、おどろくほどしづかだ。木もれ日はじつとしたまま、動かないい。そんな森の中の草地から草地へと歩いていくのは、いい気分だ。	森の中は、おどろくほどしづかだ。木もれ日はじつとしたまま、動かないい。そんな森の中の草地から草地へと歩いていくのは、いい気分だ。	森の中は、おどろくほどしづかだ。木もれ日はじつとしたまま、動かないい。そんな森の中の草地から草地へと歩いていくのは、いい気分だ。
わ客さんのひようはんが、あまりよかれたのでよく日も、そのままよく日も、ゆうすげ旅館のこかんだけでは、ダイコンづくしなくなりました。	わ客さんのひようはんが、あまりよかれたのでよく日も、そのままよく日も、ゆうすげ旅館のこかんだけでは、ダイコンづくしなくなりました。	わ客さんのひようはんが、あまりよかれたのでよく日も、そのままよく日も、ゆうすげ旅館のこかんだけでは、ダイコンづくしなくなりました。

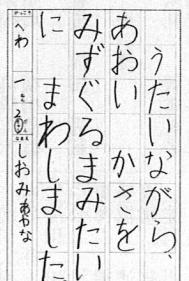
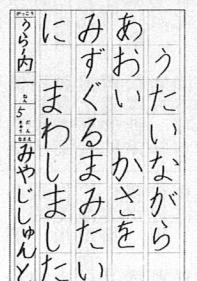
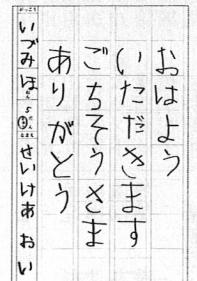
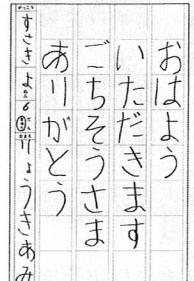
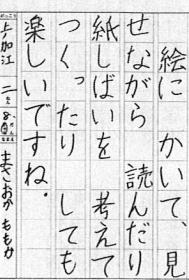
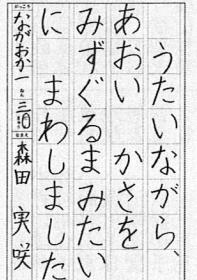
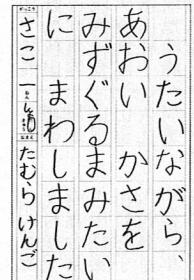
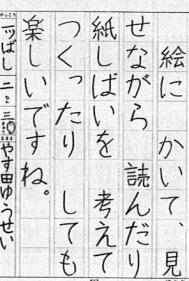
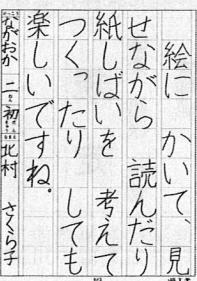
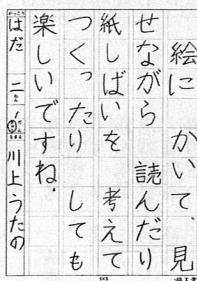
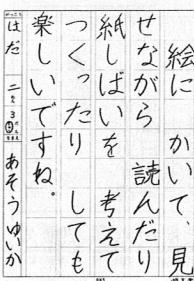
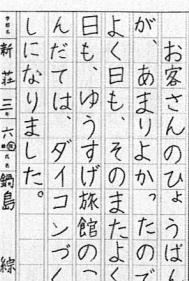
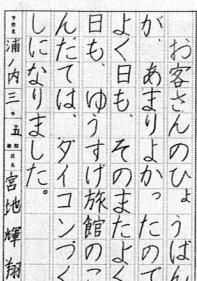
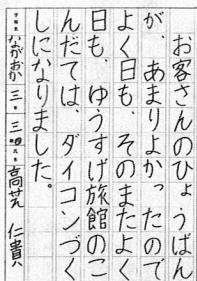
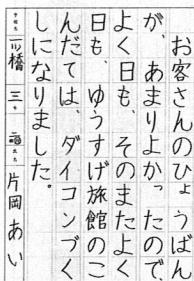
# 硬筆優秀作品

新莊  
浦ノ内  
鍋島  
宮地  
輝翔 総

一ツ橋  
やす田ゆうせい  
がおか  
北村さくら子

上ノ加江  
まさおかももか  
ながおか  
森田実咲

うちノ内  
しおみあやな  
へわ  
みやじしゅんと



長岡  
高芝  
あい

一ツ橋  
はだ  
川上  
うたの  
はだ  
あそうゆいか

小だかさ  
さこ  
たむら  
川にしこうすけ  
たむら  
けんごけ

いざみ  
すさき  
りようき  
あみい



出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★ 五級	阿波 ○中田花穂	須崎 ○毛利恋子	須崎 ○品原里皇	東洋 ○下元長年	大野見 ○西尾明美	高久須 ○吉本美智子	高久須 ○山中英明	南国 ○森内史恵	中公 ○岡田由紀	中公 ○田嶋幸三	中公 ○増水代	須崎 ○千歩	須崎 ○慶子	須崎 ○瀬辰	審査 野島桂山	
★ 四級															★ 一級	
★ 三級															審査 野島桂山	
★ 二級															審査 野島桂山	
★ 準師範	吉西桑 ○田村原和 深芳智空 美香子仁 子旭子	岡西北 門田和 本内村 桂惠子	河中平 本庭桂 志峰紅 峰舟堂	深瀬原 市原處 地桂桂 容桂舟	河中平 市原處 地桂桂 志峰紅 峰舟堂	原西山 市山地 原桂桂 容桂舟	★ 師範									
★ 六段	小利 岩谷喜 元里悠 花道	利谷 浜田千 舟玉泉	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	濱田貴 野美賀	審査 梅川桂龍	
★ 三段	森岡康 緑水	坂本絢 子	岡崎横 星山	滝下村 启明美 舞祥	橋本横 山	宮本滝 下村	大平鎌 田本	戸川大 平鎌倉	浜田理 本圭子	浜田理 本圭子	浜田理 本圭子	浜田理 本圭子	浜田理 本圭子	浜田理 本圭子	浜田理 本圭子	審査 隨意
★ 一段	山澤谷 井上幸	井上增 慶子	塚地桂 峰	吉村久 利恵	渡部由 紀	前田伸 枝子	小笠松 原裕	松原廣 人	藤中裕 美絵	松原廣 人	松原廣 人	松原廣 人	松原廣 人	松原廣 人	松原廣 人	★ 五段
★ 五級	○中田花 穂															★ 二級
★ 四級	○毛利恋 子															★ 三級
★ 初段	○中田花 穂															★ 二級
★ 五級	○毛利恋 子															★ 一級
★ 四級	○毛利恋 子															★ 一級
★ 三級																★ 一級
★ 二級																★ 一級

# 第859回毛筆成績

○印は昇級

## 中学部

一年

審査 岡林 邦心

三年

★特待生

北陵 島村莉奈

九段

学芸 飯田悠月

六段

仁淀 山本心春

八段

朝倉 松本美桜

二年

★特待生  
香長 川口虎之介  
朝ヶ丘 橋田夕暮

五段

上分 小松慎吾  
前田理功

九段

朝ヶ丘 前田理功

五段

審査 西山 極山  
夜須 西村柚季  
新莊 鍋島祐里華  
須崎 渡邊紗己

八段

上分 青木美那海  
須崎 朝比奈美空

七段

大篠 一つ橋  
須崎 湯浅楓那乃  
南 安江はな  
大篠 楠内雄星  
須崎 楠瀬太陽

六段

★四段  
多ノ郷 橋田 韶  
久重 小笠原恋菜  
長岡 小笠原伊織  
南 西山璃人

二段

越知 茅枝那瑠  
池川 聖田心結  
西森智弘

初段

審査 河村 容舟  
須南 多ノ郷  
吾桑 松浦由奈

九段

★五段  
江ノ口岡村栂茉莉  
須崎 谷愛莉  
長岡 二宮有佳子  
蓮池 上分  
一つ橋 田辺 楓  
刈谷天海  
植村晴陽  
押岡岳登

四段

長岡 内田泰平  
波介 福永璃子  
多ノ郷 森岡大陽

三段

毛筆五年  
池川 附属  
吾桑 杉本咲優  
高橋咲翔  
中越悠守

二段

★三級  
毛筆四年  
審査 大八木洋女  
須崎 武内心櫻  
一つ橋 田北 杏  
多ノ郷 今橋 蕾  
南 菊川 多ノ郷  
岡豊 飯田ひかり  
奥崎誠真

七段

長岡 森千春  
岡豊 飯田ひかり  
南 岡豊 飯田ひかり

六段

池川 上分  
吾桑 くば田愛生  
高橋咲翔  
中越悠守

初段

★新規  
毛筆三年  
審査 深瀬 緑堂  
別府 佃 柚汰  
越知 片岡絢女  
八級編入  
須崎 谷口彩心  
藤原乙羽那  
長岡 須崎 谷口彩心  
岡豊 岡上真里  
長岡 小笠原ひなこ  
西森美陽

五段

長岡 森千春  
岡豊 飯田ひかり  
南 岡豊 飯田ひかり

六段

池川 上分  
吾桑 くば田愛生  
高橋咲翔  
中越悠守

四段

★初段  
毛筆二年  
審査 深瀬 緑堂  
別府 佃 柚汰  
越知 片岡絢女  
八級編入  
須崎 谷口彩心  
藤原乙羽那  
長岡 須崎 谷口彩心  
岡豊 岡上真里  
長岡 小笠原ひなこ  
西森美陽

五段

長岡 森千春  
岡豊 飯田ひかり  
南 岡豊 飯田ひかり

六段

池川 上分  
吾桑 くば田愛生  
高橋咲翔  
中越悠守

四段

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。  
★臨書は出典名を記入のこと。

★六級	★五級	★三級	★初段	★二段	★三段	★一段	長岡
一ツ橋○宮田茉尋 一ツ橋○中澤愛加 一ツ橋○片岡あい	初月 川渕結衣 藤沢 渡部一翔 池川 大田統誠	須崎 須崎 須南 上分 須南 上分	多ノ郷 森岡快晴 氏原一乃 宮本里依羽 毛利秀門	多ノ郷 須崎 多ノ郷	審査 佐々木港花	朝比奈らむ 池畠基陽	上分 長岡
岡豊 ★二級 岡豊 北村さくらこ 島村偉空	長岡 ★一級 長岡 多ノ郷 池川 つるいか花	須崎 上分 須南 上分 須南 小まつのぞみ	松田な 谷口おとは 前田來音が	田なべり音 江頭咲良	審査 佐竹 江月	竹内ひなこ 藤崎杜真	竹内ひなこ
							★三級
★新規	★六級	★五級	★四級	★三級	★二級	★一段	長岡
一ツ橋 十級編入 一ツ橋 玉置はる	岡豊 西田圭吾	秦 岸崎あいり 玉城遙音 田辺蒼月	佐古たむらけんご 佐古たむらけんご 佐古たむらけんご	夜須○西村あさひ 須崎 ○領木あみ	審査 佐竹 江月	審査 佐竹 江月	審査 佐竹 江月
須崎 ★十級 須崎 谷脇あいら	長岡○永尾まどい	池川 片岡亜李紗 西森 光	浦ノ内 正木芳尚 須崎 ○領木あみ				もうひつ一年
氏 名							もうひつ ようち・ほいく

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙

書道用具萬般乞来店

(株)

萬

般

乞

高知市南宝永町14-18

TEL (代) (882) 1394番

夜間・TEL (882) 1392番



## 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代
3年
11月
規定

地名
----

氏名
----

段
---

級
---

のり代
3年
11月
隨意

臨は出典名
-------

氏名
----

段
級

久礼 上分 須崎	浦ノ内 宮田みゆ 藤澤 須南 須崎 浦ノ内 藤沢 宮里依羽 西山愛恵 毛利秀門	上分 内 内 内 内 内 内 内 内	片岡あい 弘田楓 藤田 駒崎愛恵 竹村奏佐 西山あい 毛利秀門	★一級 ★二級 ★三級 ★四級 ★五級 ★六級 越知 ○大原るい	★初段 ★二段 ★三段 ★四級 ★五級 ★六級 ★七級
江頭咲良 須崎 田辺蒼月 多ノ郷 松田なみのぞみ	秦安田悠成 梅原百叶 大城りさ 梅浦ゆいな	上分 内 内 内 内	安田詩乃 木下みゆ 島村偉空 西宮咲希	★一級 ★二級 ★三級 ★四級	長岡北村さくらこ 浦ノ内美島きいな 津野りく 森岡にじ
須崎 秦 岡崎 ○阿漕結花 内生和	長岡 秦 岡豊 川上詩乃 木下みゆ	長岡 秦 岡豊 川上詩乃 木下みゆ	内 内 内 内 内	橋駒崎太朗 森本かんな 竹内ひなこ 伊置はる	長岡 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内
浦ノ内○中田こと 吾桑○梅原あおま	江ノ口○須賀勇介 下村亜季衣	上分 内	○山岡はやと ○宮崎莉緒 ○安並のあ 西田圭吾	★八級 ★九級 ★九級 ★九級	浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内
浦ノ内○中山裕翔 ○中山柚希	江ノ口 松井陽希	内 内	佐古たむらけんご 夜須 西村あさひ 谷脇あいら	★二級 ★二級 ★三級 ★九級	小高坂 川西こうすけ 長岡 高橋そら
久礼 上分 出来あやね	久礼 ○岩本つむぎ ○松田ゆあ 橋田りく	久礼 ○岩本つむぎ ○松田ゆあ 橋田りく	吾桑○高橋そら ○永尾まとい ○宮田菜瑠	★八級 ★九級 ★九級 十級編入 おひさま まるばし	久礼 ○山本こうせい 一ツ橋 笛岡れいと 須崎 ○山本こうせい 浦ノ内 藤田あつひろ 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内 浦ノ内
須崎 ○西村たいき 西村逢生	須崎○毛利こはな ○高橋かな 須南○西村たいき ○清家逢生	須崎 ○領木あみ 須南○西村たいき ○正木芳尚	審査 中平 美峰 審査 中平 美峰 審査 中平 美峰	★★一級 ★★二級 ★★三級 ★★四級 ★★五級 ★★六級 ★★七級 ★★八級 ★★九級 ★★十級 ★★七級	★★一級 ★★二級 ★★三級 ★★四級 ★★五級 ★★六級 ★★七級 ★★八級 ★★九級 ★★十級 ★★七級
夜須 よとらん ようち・ほいく	夜須 よとらん ようち・ほいく	夜須 よとらん ようち・ほいく	★★新規 ★★新規	★★新規 ★★新規	★★新規 ★★新規

## (新特待生紹介)

### 毛筆の部



北陵中学校 三年

島村莉奈

この度は特待生に選んでいただき、ありがとうございます。大変なこともたくさんありましたが、続けてきてよかったです。これからも、習ってきたことをいかして、丁寧な字を書くように心がけて書いていきたいと思います。ありがとうございました。

朝ヶ丘中学校 一年

橋田夕苺

今日は特待生に選んでいただき、ありがとうございます。

今まで難しくて、苦戦したところなどありましたが、そのかべを超えておかげできれいな字がかけるようになり、特待生になれました。これからもきれいな字を書くことを心がけ、続けていきたいです。

今まで教えて下さった野中先生には、とても感謝しています。これからもご指導よろしくお願ひします。

### 硬筆の部



上分小学校 六年

朝比奈美空

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。私は一年生の時から硬筆を始めましたが、六年生で特待生になれたのでうれしかったです。中学生からは毛筆だけになるので、一文字、一文字しつかりときれいに書いていきこうと思います。

多ノ郷小学校 六年

黄之瀬凪



この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。特待生になれたときは、想像以上にうれしかったです。特待生になれたのは、小川先生のおかげです。次は、毛筆の特待生をめざします。

(新特待生紹介)

(出品票)

のり代	
3年 11月 毛筆	
校名	
保学年	
氏名	
段	
級	



清新小学校 六年



濱田ななみ

今回は、特待生に選んでいただき、ありがとうございます。姉も特待生でしたので、私もなりたいと思つていたのでとてもうれしいです。まだまだ漢字は納得できる字が書けないので、これらも精進していきたいと思います。ほんとうにありがとうございます。

夜須小学校 六年

白石葵



夜須小学校 六年



渡邊紗己

特待生になることができてうれしく思います。私は、ようち園から七年間、特待生を目標にがんばっていました。ここまで教えてくださった先生や両親に感謝し、これからもがんばります。

浦ノ内小学校 六年

美島望花



この度は、特待生に選んでいただきうれしく思います。幼いころから続けてきた硬筆もやつとここまでこれました。これまで、字を教えてくださった先生や、硬筆に通わせてくれた家族のみなさんにとっても感謝します。これからもよろしくお願ひします。

のり代	
3年 11月 硬筆	
校名	
氏名	
段	
級	

この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。私は、小学一年生になつてから硬筆をはじめました。姉が特待生になつていたので、私も特待生になりたいと思つていました。ですから、すごくうれしいです。これからもいつもきれいな字が書けるようにしたいです。

# (新特待生紹介)



浦ノ内小学校 五年

正木希実

この度は特待生に選んでいただきありがとうございました。保育園の時から習い始めて五年生で特待生になれて、うれしく思っています。これからもきれいに字がかけるようにしたいです。

次は毛筆も特待生になれるようになります。  
小川先生これからもよろしくお願いします。



多ノ郷小学校 五年

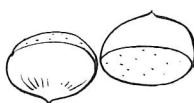
橋田茉奈

この度は、特待生に選んでいただき、ありがとうございました。  
私は保育園の年中から硬筆を習い始めました。お姉ちゃんと私は野中先生にきれいでいいねいな字を書けるようにたくさん教えていただきました。お姉ちゃんは先に特待生になり、私もお姉ちゃんのように特待生になりたくてこれまで以上にきれいな字を書けるようにがんばりました。  
そして、これからも今までよりずっと、きれいな字を書いていこうと思います。ありがとうございます。

## 〈訂正〉

9月号3ページの森本瓊象先生の  
条幅参考作に”臨”とありますが、  
正しくは”書”です。

訂正してお詫びします。



連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」 冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一(二)(一)一一

隅田回心

龍跳書道会

振替口座番号

01690-3-31925  
電話(0八八九)三五—〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(0八八)八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(0八八七)二九一-一六五〇番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛治町六一八

江西澄翠

電話(0八八九)四一一三一〇六七番

(冊数の相違等については当方へ連絡下さい。)

・送本についての連絡先

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(0八八九)四七一〇七一一番

あとがき

2019年12月、中国武漢市で発生した新型ウイルス、2020年1月6日には早くも東京で感染者発生。日本はもちろん、今や世界中に蔓延している。地球温暖化による異常気象、世界各地で豪雨による洪水が続いている。今こそ温暖化に力を入れて取り組まないと大変なことが続いていく。残念なことに未だに戦争している国もある。すべて人間がおこした現状。世界中が地球環境に关心をもつてとり進めてほしい。新型ウイルスの発生は人間に対しての地球からの怒りであり警告ではないでしょうか。(素人考えですが。)

月例作品送り先	保育	年	二年	三年	四年	五年	小学六年	一年	二年	中学三年	半紙隨意	半紙規定	一般条幅	部別	締切日
〒783 0081 南国市片山四九〇 西山極山宛	ふ え ゆ き	はやし り だんろ 雪	山 文化の日 月光の曲 冬休み 強い北風	世界平和 天清月澄 四国山地 研究発表	全山紅葉 玉雪開花	任 意 任 意	海内存知己 天涯若比鄰	任 意 任 意	十一月二十日 締切 十二月二十日 締切						

### 会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

#### 1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

$$\begin{aligned} \text{Ⓐ} &+ \text{Ⓐ} = 290\text{円} \times \text{月数} \\ \text{Ⓑ} &+ \text{Ⓑ} = 360\text{円} \times \text{月数} \\ \text{Ⓒ} &\times 3 = 630\text{円} \times \text{月数} \end{aligned}$$

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ  
 Ⓛ 〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心  
 Ⓜ 振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分  
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
須崎市東古市町二一一六 電話(六六六)四二一〇二四四 (有) 笹岡印刷所	龍跳書道会 電話(六六七)二九一二六五〇	福原暁雲(本部) 安芸郡東洋町河内三〇四 電話(六六七)二九一二六五〇	中平美峰 江西澄翠 野島桂山 福原暁雲